

No. 514 2021. 1. 1

1月 園だより

西京極保育園
TEL. 311-2516

2020年度 保育目標

『かんがえてみよう・やってみよう』

1月の目標

『きいてみよう みてみよう やってみよう』

今月のことば

明けましておめでとうございます。

寒波が心配された年末年始でしたが、それほどのもことなく、大掃除やお正月の準備も比較的体が動きやすかったのではないのでしょうか？

帰省が出来なかったり、親族の集まりがなかったり…様々なことが例年通りではいかなかった2021年の始まりです。

今年が丑年。丑は、昔から日本では農作業の手伝いや、荷物を運ぶ労働力として人の生活には欠かせない大切な動物でした。又、丑年は先を急がず一步一步着実に物事を進める事が大切な年といわれています。これから発展する前触れ、芽が出る、というような意味もあるようです。結果を求める時期ではなく結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期でもあるようです。

丑年生まれの人の特徴としては、マイペースな努力家・頑固な一面もあるようです。

今年が辛丑（かのと・うし）で、つまずきや痛みを伴う衰退と、あらたな息吹が互いに増強し合う年ともいわれています。さてさて、どんな一年になるのでしょうか？

一年の時間軸は年代とともに変わり、子どもの頃の365日と、大人になってからのそれとでは何倍いや、何十倍の差、体感、時空を感じながら一年を過ごすことになります。

気が付けば一か月が過ぎていた…は気が付くことすらなかった…に変わり、そのうち気にもしなくなる…になっていきます。子ども達の時間軸は私達とは異なり、毎日が24時間しっかりあり、その中身の濃いこと！1440分、86400秒をまさに秒単位でその瞬間を生きています。生まれて一年の脳の成長は勿論、身体も約50センチ、3000グラムとしても、1歳になる頃には身長は約1.5倍、体重は約3倍になります。この伸び率は、生涯に渡って最高で最強のもので、75センチが、9000gが1年でそれぞれこの倍率で成長する事は生涯ありえません。この生まれてからの一年の素晴らしさは人間の最も美しく神秘に満ちた365日だと思います。

毎日赤ちゃんと接しているとどの子どもも哲学者や科学者に思えます。素晴らしく成長をしていて、いつも何かを発見しています。驚き、喜び、悲しみ、楽しさ、怒り、快、不快…0歳児だけでなく、保育園時代の子ども達もいつも、毎日その繰り返しです。素晴らしき子ども時代、一人ひとりが人生を謳歌しながら生きています。私達保育者は、それを間近で見ながら拍手の嵐の日々を送っています。

さて、大人の時間軸で考える一年前は？新型の感染症の心配も少しは気になりながらの普段とさして変わらないお正月だった…はず…2月、3月えっ？えっ？えっ～！の毎日、毎月。まさかの連続、100年に一度？の連続の体験の日々…まだまだ解決の道筋が見えにくい状況ではありますが、愛する子ども達がこの時代でも、変わらず大きくなっていることにやはり、未来への希望、人類の逞しさを実感し

「がんばろう人類・大丈夫だ地球」と、思ってしまう。

今年度に入園された保護者の皆様は一年前、それより在籍年数が長い皆様は数年前の、初めての保育園選び、入所決定、その後の入園までのスケジュール…などを少し振り返ってみて下さい。京都市の例年の入所決定は3月上旬（実は全国的にもかなり遅い決定時期です。東京などは年内に決定する所もあります）感染症が原因なのかどうかはわかりませんが、今年度は2月上旬が決定予定となっています。知り合いや、あっちこっちでよく聞く話ですが…「西京極保育園は人気があり入りにくい…ので最初から諦めて…」

「見学説明会に参加してここがいい～と思ったけれど、入所は難しい…といわれて第一希望を変更した…」

「私達の働き方では、点数が足りないからかなり厳しいと…」

「最初から諦めていた…」等など… 一般的に人気が高い、入りにくい保育園って？いやいや…入りたい人に是非！入って欲しい！

「ここがいい、ここでうちの子は保育を受けたい」

「ここで一緒に子育てをしていきたい」

「私達、親を応援して欲しい」

「一緒にこの時期を過ごしたい」

子育ての第一歩のパートナーであり、子どもが最初に家庭以外で過ごす場所、親、親族以外の最初に出会う大人、社会の一員として過ごす集団の経験の場…

諦めていないから、今がある。子どもを通して私たちの園と保護者の皆さんとの絆がある。一般の情報や噂は知りつつも、自分の考え、価値観で選択したからこそ、今の繋がりがあります。そのことへの感謝を改めて感じています。

少子高齢化へまっしぐらの日本社会で、子どもの出生率は過去最低の記録を年々更新しています。感染症もあり、今年～来年はもっと減少すると予想されています。保育園への入所希望をするご家庭が多いのか、少ないのかも全くわかりません。が、しかしその中での新たな出会いも期待しています。先ほど伝えましたように「入りたい人に入って頂きたい」が、本

音ではありますが、保育園という社会的に必要な福祉施設なので、100%その本音と希望が叶うわけでもありません。私達は社会の中で、福祉施設としての役割と乳幼児保育、教育としての役割を同時に持っています。今や「保育園はただ、子どもを預けるだけ、子守を？するところ？」と思っている人はいないでしょう。又、そういう施設もないでしょう。

これからの日本の国や、多くの国（所謂先進諸国）が直面していく人口減少社会の中で、最も大切なことがここ保育園、乳幼児保育、教育の現場にあります。

それが、どんなことであるか、何が問題で、解決に向けての道はあるのか？どんな事柄が大切なのか…

この新しい一年も皆様と共にその答えへの道筋を、一步一步進み、積み重ねていきたいと思えます。

職員一同改めまして、心を一つに保育に励む所存です。

本年もよろしくお願いいたします。

◎ ☆月☆日（☆）は、煮込みうどんづくりをします。

例年であれば

ひまわりさん（5歳児）が水、塩、小麦粉でおうどんをつくり、

ゆりさん（4歳児）が野菜を包丁で切り、

きくさん（3歳児）が野菜の型ぬきをして

かぜ組さん（2歳児）が手でコンニャクをちぎり

はな組さん（0・1歳児）も、一生懸命食べます

みんなで、今年が健康で楽しい一年になるように願いながらいっぱい食べます。残念ながら、今年度は感染症予防の為子ども達はお手伝いできませんが、給食室スタッフが美味しい煮込みうどんを作ります。又幼児にじ、ほし、そら組の子ども達に様々なおうどんの話や調理方法をお話しします。これも又楽しみですね。

◎お知らせ

- ・ これからの時期、ますます風邪などの症状が出やすい時期になります。早期発見、早期治療を心がけ、子ども達の体調を一番に考えましょう。
- ・ 引き続き、検査や様々な症状や変化などがあった場合必ず園に相談、ご報告下さい。
- ・ 園からのメール、お便り、お知らせなどは必ずお読みください。
- ・ 今後の感染状況により、様々な事において変更が生じる場合があります。その都度お知らせしますので、ご理解、ご協力をお願いします。
- ・ 「生活発表会」は〇月〇日（△）を予定しています。例年は、0・1歳児はお休みのご協力をしていただき、2歳児～5歳児は2階の児童館にて行っていますが、今年度におきましては、例年通り行うことが難しい状況となっておりますので、詳細につきましては後日お知らせします。